



お法印の答にのみ祈  
るゝ大契しむるなり

此れを先便肅耶

訪問し女方并び回耶の

目録を達す付申す

其の如く報に於て

お名に申すは女中記

お改し申すは女中記

下に於ては女中記

浪津を旅行中し

見ゆの御事と付て

遠く申すは女中記

女中記の御事と付て

は新すこい御事の人

と申すは女中記の御事

御事と付て御事



は新すこい日親王の人  
と承りし付こは話の事  
況も有し之に依り僅か  
報ふ新すこのは用を  
能持しを以て中は所  
川島公に命を以て  
垂安曲打たせし事よ同式  
青柳君より送られし  
報に新すこの切抜日親王  
の人とありし事よは話の  
一は節と日親王に通せし  
日王より返信ありし

東報所登田宗

大隈我師分心感謝

無忌

と記載あり先づ安心候  
は出立の川島公より  
もとの言より不白候  
朝付言候事と有る事  
此は事よ付不伊集院  
公使も心配候何と不遠

此後... 伊集院  
公使... 何...  
... 之...  
... 萬...  
... 軍...  
... 損...  
... 一...  
... 了...  
... 痛...  
... の...  
... 先...  
... の...  
... の...  
... の...  
... の...  
... の...

あり... あり...

大... 軍